

令和8年度

編入学学生募集要項

入学案内

願書受付期間	令和7年11月10日(月)～11月13日(木)
学力検査	令和7年11月22日(土)
追試験（学力検査）	令和7年11月29日(土)
合格者発表	令和7年12月4日(木)
入学確約書の提出期限	令和7年12月24日(水)
入学手続	令和8年3月17日(火)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

目 次

令和8年度編入学学生募集要項

1	募集学科及び編入学年次	1
2	出願資格	1
3	志望学科	1
4	出願書類受付	1
5	出願手続	2
6	個人情報取り扱い	3
7	学力検査の出題科目及び配点	3
8	選抜方法	4
9	学力検査の日時及び検査場	4
10	追試験の実施	4
11	受験上の注意事項	4
12	選抜結果の発表	5
13	入学確約書の提出	5
14	入学手続	5
15	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	5
16	災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験者 への検定料免除	6

入 学 案 内

1	本校の沿革	7
2	教育理念	7
3	各学科の教育目的及び目標	7
4	本校の特色	8
5	教育課程	9
6	入学時に必要な経費	10
7	入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度	10
8	独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度	10
9	高等教育の修学支援新制度	10
10	学生寮	11
11	課外活動	11
12	卒業後の進路	12

令和8年度 編入学学生募集要項

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本校が求める人物像は、次のとおりです。

- ① 技術者になる意欲をもっている人
- ② 理数系の基礎学力が身についている人
- ③ 自立心があり、社会的ルールを守って行動できる人
- ④ 他の人と対話を通して相互理解を深めようとする人

1. 募集学科及び編入学年次

系	学 科	募集人員	編入学年次
機械・電気・ 制御情報系	機 械 工 学 科	若干名	第4学年
	電気電子工学科	若干名	
	制御情報工学科	若干名	
化学・材料系	生物応用化学科	若干名	

（注）材料システム工学科は編入学試験を実施いたしません。

2. 出願資格

編入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（注）上記(3)により出願する者は、事前に学生課教務係へ問い合わせてください。

3. 志望学科

志望学科は、同一系内の学科から第2志望まで選ぶことができます。

ただし、化学・材料系については、第2志望は選べません。

4. 出願書類受付

- (1) 受付期間 令和7年11月10日(月)から令和7年11月13日(木)（消印有効）
- (2) 受付時間 9時から17時まで
- (3) 受付場所 〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

※受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。

5. 出願手続

(1) 志願者は、出願に必要な次の書類等を整え、受付場所に提出してください。

書 類 等	摘 要
1 編 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
2 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受 付証明書」提出票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、出願前3か月以内に撮影した、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）のものを使用してください。
3 入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により、志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間：令和7年10月31日(金)～ 令和7年11月13日(木) 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付し、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」（コピー可）を入学検定料「振込受付証明書」提出してください。 <注意> 1）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の「振込依頼書」を使用することはできません。郵便局（ゆうちょ銀行）専用の「振込依頼書」に記入が必要です。 2）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳と届出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3）不明な点は、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
4 調 査 書	在籍（出身）学校所定の用紙により、学校長が作成し厳封したもの
5 受 験 票 送 付 用 封 筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、460円切手（簡易書留郵便料）を貼付して提出してください。 出願書類一式を窓口を持参する場合は、必要ありません。
6 あ て 名 票	諸連絡に使用するもので、正確に記入してください。

(2) 郵送する場合は**書留郵便**とし、出願に必要な書類等を入れた封筒の表面に「**編入学願書在中**」と**朱書**してください。

6. 個人情報の取扱い

編入学志願者から提出された編入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除又は徴収猶予に係る申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

注 意 事 項

1. 出願書類に不備のあるものは受け付けません。また、出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 願書提出後は、志望学科及びその他記載事項の変更は認めません。
3. 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
4. 受理した出願書類及び出願書類受理後の検定料は返還しません。
納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合
 上記の場合は、本校学生課教務係へ連絡願います。

7. 学力検査の出題科目及び配点

志 望 系	志 望 学 科	出 題 科 目(範囲)	配 点
機械・電気・ 制御情報系	機 械 工 学 科 電気電子工学科 制御情報工学科	数学 { 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B (数列)、 数学 C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面) }	150 点
		英語 { 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 論理・表現Ⅰ }	150 点
		理科 { 下記の(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)のいずれか 1つを選択 }	200 点
		(ア)物 理 (物理基礎、物理) (イ)機械系専門 (機械設計、機械製図、機械工作、原動機) (ウ)電気系専門 (電気基礎、電子回路、情報技術基礎) (エ)制御情報系専門 (電気基礎、コンピュータシステム技術、 ハードウェア技術、アルゴリズムとプログラム)	
合 計			500 点
化学・材料系	生物応用化学科	数学 { 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B (数列)、 数学 C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面) }	150 点
		英語 { 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 論理・表現Ⅰ }	150 点
		理科 { 下記の(オ)、(カ)、(キ)のいずれか 1 つを選択 }	200 点
		(オ)化 学 (化学基礎、化学) (カ)物 理 (物理基礎、物理) (キ)化学系専門 (有機化学、分析化学、物理化学、化学工学)	
合 計			500 点

8. 選抜方法

編入学者の選抜は、学力検査、学校長から提出された調査書をもとに総合的に判断します。ただし、3教科の合計点が50%（250点）以上で、かつ、各教科の得点が40%（数学60点、英語60点、理科80点）以上の者を合否判定の対象とします。

9. 学力検査の日時及び検査場

期 日	科 目	時 間	検 査 場
令和7年 11月22日（土）	数 学	9時00分～10時30分	久留米工業 高等専門学校
	英 語	10時50分～12時20分	
	理 科	13時10分～15時10分	

※検査当日は、8時40分までに本校学生課前に集合してください。

10. 追試験の実施

所定の期間に出願手続を完了させた者のうち、令和7年11月22日（土）に実施する編入学者選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和7年11月29日（土）に追試験を実施します。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

・例）月経随伴症状等の体調不良など

※上記については、在籍（出身）高等学校等の長による証明書を必要とします。

ただし、医療機関による証明でも可能です。

※該当する場合は、令和7年11月22日（土）9時30分までに本校学生課教務係に電話連絡し、速やかに本校所定の「追試験受験申請書」を提出してください。

11. 受験上の注意事項

(1) 遅刻による検査室への入室限度時刻は検査開始後30分とします。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により、検査開始後30分以上遅刻した者は、必ず受験予定検査室の監督者に申し出てください。

(2) 検査時間中の退室は、用便又は発病等やむを得ない場合を除き認めません。

(3) 受験票を紛失した場合は、検査場で仮受験票の発行を申し出てください。

(4) 受験票は、必ず机の上に置いてください。

(5) 受験票のほかに検査時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

ア 黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）・黒シャープペンシル・鉛筆キャップ

イ プラスチック製の消しゴム

ウ 鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可。）

エ 時計（辞書、電卓端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音がするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）

オ 眼鏡、目薬

(6) 検査時間中に、次のものは使用できません。

ア 下敷・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具

イ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

上記の物をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為とすることがあります。

(7) 昼食、飲料等は持参してください。昼食は検査室でとり、ゴミは各自持ち帰ってください。

(8) 上履きを持参する必要はありません。

12. 選抜結果の発表

令和7年12月4日（木）10時

合格者の受験番号を本校HPに掲載するとともに、全受験者に対して、選抜結果通知書を当日発送の文書により通知します。（電話等による問い合わせには応じません。）

13. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年12月24日（水）までに「入学確約書」を必ず提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

14. 入学手続

合格者は、令和8年3月17日（火）13時から入学手続き及び入学説明会を行いますので、必ず出校してください。詳細（入学料の納付期限等を含む）は、合格者に対して別途お知らせします。

当日入学手続きを行わない者は、入学を許可しません。

15. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

久留米工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに久留米高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和7年10月13日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分 認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口(担当係名)学生課教務係 (電話番号) 0942-35-9315・9316

(FAX)0942-35-9319 (MAIL)Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

16. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験者への検定料免除

本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合または、学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合に検定料が免除される場合がありますので、該当すると思われる場合は、検定料の納付を行う前に本校学生課教務係にお問い合わせください。

(担当係名)学生課教務係 (電話番号) 0942-35-9315・9316

(MAIL)Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

入 学 案 内

1. 本校の沿革

本校は、昭和 14 年久留米高等工業学校が設立されたことに始まり、久留米工業専門学校、久留米工業短期大学（昭和 33 年設立）と変遷し、実践的技術者の養成という時代の要請を受けて、昭和 39 年に現在の久留米工業高等専門学校となりました。

平成 5 年 4 月には、九州で最初に専攻科が設置され、優れた教授陣と充実した設備を誇っています。

2. 教育理念

自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成

3. 各学科の教育目的及び目標

○機械工学科

教育目的

ものづくりの精神を基本とし、機械技術者としての基礎能力や専門技術を修得し、創造性豊かで国際的視野に立った実践的技術者を育成する。

教育目標

機械技術者としての素養を備え、基礎な知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

○電気電子工学科

教育目的

先端技術であるエレクトロニクスと ICT、及びこれらを支える電気エネルギーの専門知識を修得し、高度情報通信社会に貢献できる実践的、創造的電気電子技術者を育成する。

教育目標

電気電子技術者としての素養を備え、専門知識と技術を修得し、それらを総合的に活用できる能力を養成する。

○制御情報工学科

教育目的

制御、情報を中心とした幅広い専門知識を修得し、広い視野と豊かな創造性を備え、様々な産業分野において活躍できる実践的能力に優れた技術者を育成する。

教育目標

メカトロニクスや情報の分野で活躍できる技術者になるために必要な基礎的な知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

○生物応用化学科

教育目的

化学工業、バイオ工業に必要な基礎・専門知識及び技術者素養を修得し、個別の知識を複合化して使いこなし、社会に貢献できる実践的・創造的技術者を育成する。

教育目標

化学工業、バイオ工業に必要な専門知識、豊富な実験技術を修得し、環境に配慮し技術者倫理を守って、それらを課題解決及び企画立案に活用できる能力を養成する。

○材料システム工学科

教育目的

ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでの材料に関する一連の専門知識を身につけ、社会の発展に貢献できる技術者を育成する。

教育目標

金属、セラミックス、高分子材料などに関する基礎的な知識や技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

4. 本校の特色

（１）編入生に対する教育課程上の配慮

本校は、昭和 61 年度から編入生を受け入れています。3 年生までの専門科目の対応として、4 年次に編入生用の科目を開講しています。

（２）卒業後の幅広い進路

本校の卒業生には、準学士の称号が与えられ、進路も企業等への就職、専攻科への進学、大学 3 年次への編入学と大きく開かれています。

本校の専攻科（2 年制）は、機械・電気システム工学専攻（機械工学系・電気電子工学系・制御情報工学系）と物質工学専攻（生物応用化学系・材料工学系）の 2 専攻があります。専攻科を修了し、大学改革支援・学位授与機構の一定の要件を満たせば学士の学位を取得でき、さらに専攻科修了後は、大学院へ進学することもできます。

5. 教育課程

入学後4・5年生で修得できる専門科目は次のとおりです。ただし、今後、変更する場合があります。※は4年次編入生のみ履修

	授 業 科 目 名				
	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	生物応用化学科	材料システム工学科
必修科目	応用数学1	電磁気学3	応用数学1	物理化学2	情報処理2
	応用数学2	電気回路3	応用数学2	無機化学1	応用数学1
	安全工学と工業倫理	半導体工学	確率統計	無機化学2	応用数学2
	工業英語	応用物理2	離散数学	有機化学2	応用設計製図・CAE
	機械設計製図	応用数学1	信号処理	高分子化学1	電気電子工学概論
	機械設計法1	応用数学2	機械工学概論	有機金属化学	セラミックス材料学2
	機構学	電気機器工学2	電気回路2	有機合成化学	材料化学2
	工業力学	高電圧工学	電子回路	高分子化学2	物理化学2
	材料力学2	機械工学概論	電磁気学	機能有機材料	電気化学1
	四力学演習	制御工学	計測工学	応用化学実験	金属物理学2
	精密加工学	計算機アーキテクチャ	制御工学1	生物有機化学	材料物性学1
	流体工学	電子回路	数値計算法	遺伝子・細胞工学	塑性加工学
	工業熱力学	電気電子計測	データ構造とアルゴリズム	代謝工学	金属材料学1
	機械工学実験	技術社会の安全と倫理	データベース基礎	生物工学実験	工業英語
	機械工学セミナー	コミュニケーション	ソフトウェア工学	化学工学1	材料システム実験3
	機械要素設計実験	電気電子材料	デジタル回路設計	機器分析	材料システム実験4
	機械設計法2	生物応用化学概論	データサイエンスと人工知能1	工業物理化学1	応用数学3
	機械力学	電気電子実験2	創造プログラミング演習	応用数学	高分子材料学
	制御工学	パワーエレクトロニクス	情報理論	情報処理演習	電気化学2
	品質管理	電力発生工学	工業倫理と安全	物化・化工実験	環境工学
	流体機械	電力システム	パワーエレクトロニクス	品質・安全工学	材料物性学2
	伝熱工学	電力応用	半導体材料工学	ポリマー工学	材料強度学
	卒業研究	情報理論	物質工学概論	バイオ工学	金属材料学2
	電気電子工学概論	情報インフラストラクチャー	通信工学	化学工学2	融体加工学
	化学工学概論	通信ネットワーク	電子情報実験	工業物理化学2	材料評価学
		電気施設管理	制御工学2	機械工学概論	安全工学・工業倫理
		システム工学	ロボット工学	電気電子工学概論	品質工学
		電気電子設計	制御工学実験	環境工学	材料システム実験5
		電気電子実験3	オペレーティングシステム	産業財産権・工業倫理	卒業研究
		卒業研究	コンパイラ	卒業研究	
			計算機アーキテクチャ1	工業英語	
			計算機アーキテクチャ2		
			データサイエンスと人工知能2		
			情報通信実験		
			卒業研究		
選択科目	※機械工学概論	※電気電子工学概論	※制御情報工学基礎A	※生物応用化学概論	※材料工学概論
	短期インターンシップ	短期インターンシップ	※制御情報工学基礎B	科学技術史	短期インターンシップ
	半導体工学概論1	半導体工学概論1	短期インターンシップ	短期インターンシップ	半導体工学概論1
	半導体工学概論2	半導体工学概論2	半導体工学概論1	半導体工学概論1	半導体工学概論2
			半導体工学概論2	半導体工学概論2	接合工学・複合材料 金属熱処理論

6. 入学時に必要な経費

費 目	金 額	適 用
入 学 料(注 1)	84,600 円	納付期限等の詳細は合格者に対して別途お知らせします。
授 業 料(注 2)	前期分 117,300 円	年額 234,600 円
教科書代等(注 3)	約 60,000 円	
そ の 他 諸 経 費	約 52,000 円	
合 計	約 313,900 円	

(注 1) 入学手続後の入学料は返還しません。

(注 2) 上記の納付金額は、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

(注 3) 教育方法の改善により、教科書代等教材費が増額される場合があります。

(注 4) 4 年生で工場見学旅行を行うので、この学年で別途 11 万円～18 万円程度が必要となります。

(注 5) 入学後に学生用ノートパソコンが必要となります。詳細は、入学手続き時にご案内します。

7. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度

(1) 入学料について

入学前 1 年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受ける等、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

(2) 授業料について

授業料の各期の納付期限前 6 月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前 1 年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等は、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

8. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、特に優れた学生であって経済的に修学が著しく難しいと認められる人に対して、選考の上、奨学金が給付・貸与されます。

詳細は、日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

9. 高等教育の修学支援新制度

令和 2 年 4 月 1 日から、高専の 4・5 年生及び専攻科生が対象となる授業料等減免制度の新設及び給付型奨学金の支給拡充が実施されています。詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」を参照願います。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

10. 学生寮

本校敷地内に寄宿舎があります。

男子寮（4階建）は、1室1名用、2名用と3名用のあわせて140室、収容定員は210名です。また、女子寮（3階建）は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員30名です。

入寮に関しては、選考がありますのでご希望に添えない場合もあります。

費 目	月 額	摘 要
寄 宿 料	700 円 800 円	1 名部屋以外 1 名部屋
給 食 費	約 34,000 円	朝・昼・夕食付
寮費(光熱水料費等)	8,000 円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 42,700 円 約 42,800 円	1 名部屋以外 1 名部屋

(注1) 上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

(注2) 上記収容定員および納付金は令和7年5月現在のものです。入寮時および在寮中改定されることがあります。

11. 課外活動

本校では、勉学はもとより有意義な学生生活を送るため課外活動にも力を入れており、現在次のクラブがあります。

体育系クラブ		文化系クラブ
陸 上 競 技 部	剣 道 部	英 会 話 部
水 泳 部	弓 道 部	吹 奏 楽 部
バスケットボール部	合 気 道 部	軽 音 楽 研 究 部
バレーボール部	ハ ン ド ボ ー ル 部	茶 道 部
サ ッ カ ー 部	ソ フ ト テ ニ ス 部	囲 碁 将 棋 部
ラ グ ビ ー 部	サイクリング同好会	美 術 部
テ ニ ス 部	空 手 同 好 会	新 聞 文 芸 部
卓 球 部	技 術 系 ク ラ ブ	華 道 部
バドミントン部	自 動 車 部	写 真 部
硬 式 野 球 部	ロ ボ ッ ト コ ン テ ス ト 部	ピ ア ノ 同 好 会
柔 道 部	プ ロ グ ラ ミ ン グ ラ ボ 部	ダ ン ス 同 好 会
	鳥 部	

12. 卒業後の進路

(1) 就職

卒業生の主な就職先

機 械 工 学 科	電 気 電 子 工 学 科	制 御 情 報 工 学 科	生 物 応 用 化 学 科	材 料 シ ス テ ム 工 学 科
本田技研工業	九 州 電 力	N T T デ ー タ	旭 化 成	ア ー レ ス テ ィ
S U B A R U	中 部 電 力	富 士 通	味 の 素	京 セ ラ
三菱重工業	J - P O W E R	日 立 製 作 所	アステラス製薬	国 立 印 刷 局
日 本 製 鉄	サ ン ト リ ー	安 川 電 機	E N E O S	三 松
J R 西 日 本	ソニーセミコンダクタソリューションズ	トヨタ自動車九州	出 光 興 産	J X 金 属
J R 東 海	J A S M	本田技研工業	A G C	資 生 堂
ク ボ タ	コニカミノルタジャパン	九 州 電 力	花 王	昭 栄 化 学 工 業
パナソニック	キャノンメディカルシステムズ	ダ イ キ ン	沢 井 製 薬	田 中 貴 金 属 グ ル ー プ
東京エレクトロン	N T T グ ル ー プ	ラ ッ ク	サ ン ト リ ー	デ ィ ス コ
JAL エンジニアリング	ローム・アポロ	キャノンメディカルシステムズ	資 生 堂	東 京 エ レ ク ト ロ ン
富士フイルム	富士通グループ	チ ー ム ラ ボ	昭 栄 化 学 工 業	東 京 製 鉄
ニ コ ン	J R 西 日 本	メ ン バ ー ズ	第一三共製薬	日 産 自 動 車
安 川 電 機	栄 電 舎	N T T 東 日 本	ダイキン工業	日 本 精 工
セイコーエプソン	J A X A	ニ コ ン	大 日 精 化 工 業	日 本 タ ン グ ス テ ン
L I X I L	日触オートモーティブテクノロジー	三井ハイテック	中 外 製 薬	日 本 冶 金 工 業
久 光 製 薬	N H K	N T T コ ム ウ ェ ア	D I C	日 之 出 水 道 機 器
コ マ ツ	国 立 印 刷 局	ブリヂストンソフトウェア	東 洋 新 薬	富 士 ダ イ ス
旭 化 成	西 部 ガ ス	I - P E X	東 レ	三 井 金 属 鉱 業
富 士 電 機	西 部 電 機	A J S	日 東 電 工	U B E
デ ィ ス コ	住 友 電 設	ソニーGM&O	三井化学分析センター	L I X I L

(2) 進学

本校には、平成5年度に設置された2年制の特例適用専攻科があり、機械・電気システム工学専攻、物質工学専攻の2専攻があります。専攻科は、高等専門学校における教育の上に、高度な研究開発や先端技術分野における先端的な技術を担い、広く産業の発展に寄与できる技術者を育成します。

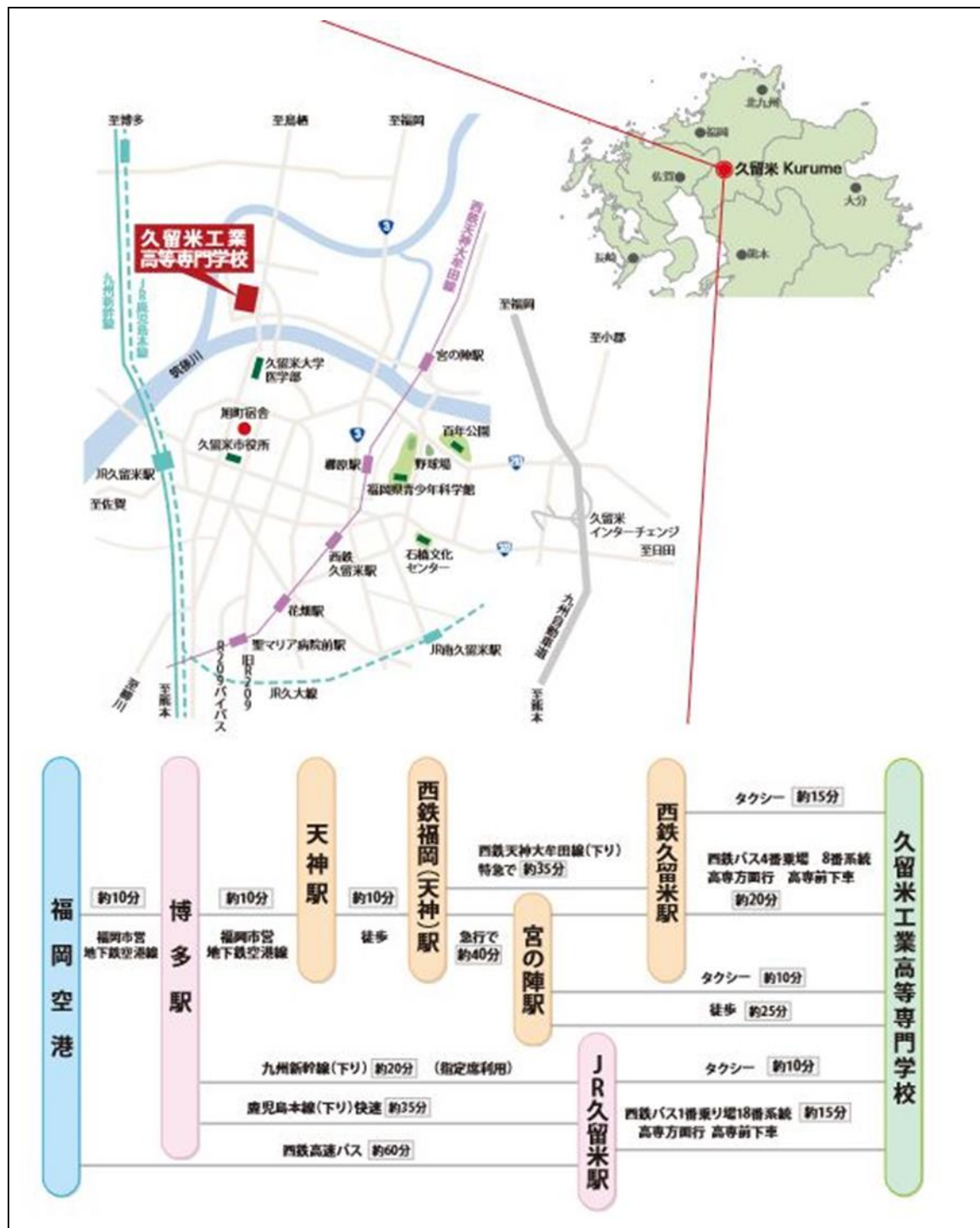
専攻科修了者は、大学改革支援・学位授与機構の一定の要件を満たせば学士の学位を取得でき、さらに専攻科修了後は、大学院へ進学することもできます。

また、大学の3年次への編入学制度があり、九州大学や九州工業大学をはじめ、国公立大学へ編入学できます。

本校専攻科及び大学編入学合格状況

大学等名		卒業年度			大学等名		卒業年度		
		令和 4	令和 5	令和 6			令和 4	令和 5	令和 6
国	本校専攻科（連携教育プログラム含む）	54	57	50	国立	滋賀大学		1	
	長岡技術科大学	5		1		神戸大学		3	1
	豊橋技術科大学	12	9	5		広島大学		2	3
	東北大学	1		1		岡山大学			2
	筑波大学	3	1	3		島根大学			1
	宇都宮大学		1			愛媛大学	1	1	
	群馬大学	1		1		九州大学（連携教育プログラム含む）	14	6	4
	千葉大学	2		1		九州工業大学	7	10	10
	東京農工大学		1			佐賀大学	4	5	5
	東京科学大学（旧東京工業大学）	1		1		長崎大学	1		
立	新潟大学	1			熊本大学	6	12	12	
	富山大学	1		1	公立	大阪公立大学（旧大阪府立大学）	1		
	金沢大学		1			山口東京理科大学	1		
	岐阜大学			1		諏訪東京理科大学		1	
	静岡大学			1		東京都立大学		1	
	名古屋大学			1	私立	上智大学		1	
	京都大学	1				合 計			
	京都工芸繊維大学	1		1			119	115	106
	大阪大学	1	2						
	・ 令和３年度以前に合格実績がある上記以外の国立大学等								
北海道大学、室蘭工業大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、茨城大学、埼玉大学、東京大学、東京海洋大学、お茶の水女子大学、山梨大学、横浜国立大学、信州大学、福井大学、三重大学、奈良女子大学、和歌山大学、鳥取大学、徳島大学、高知大学、宮崎大学、長崎総合科学大学、琉球大学、モンゴル科学技術大学 等									

久留米工業高等専門学校位置図



受験に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒830-8555
福岡県久留米市小森野一丁目1番1号

電 話 0942-35-9315 (学生課直通)
0942-35-9316 (")

FAX 0942-35-9319

ホームページ <https://www.kurume-nct.ac.jp/>

